

令和元年度 館林市立第七小学校 学校評価 羅針盤



- ＜昨年度の課題＞
 14 学校は、ケータイ・スマホ・ゲーム機の危険性や適切な使い方を指導していますか。
 ＜今年度の重点項目＞
 14 学校は、ケータイ・スマホ・ゲーム機の危険性や適切な使い方を指導していますか。（昨年度に引き続き重点項目とします。）
 ＜今年度の努力項目＞
 4 生活習慣の見直しや、学習の取り組みを三中と連携して進めている内容について知っていますか。
 6 進んで学習したり読書したりする習慣が児童に育っていますか。
 10 授業に必要な道具を揃える習慣が児童に身に付いていますか。

羅針盤			方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
I	連携 保護者と連携を図りながら教育をすすめていますか。	1 学校は保護者への連絡をきめ細かく行っていますか。	① 「学校や児童の成長の様子がかかる」と答える保護者が80%以上である。 ・HPなどを活用し児童の活動の様子を発信していく。 ・連絡帳などを活用し保護者との連絡を密に行っていく。 ・授業参観や懇談会の場を、情報発信のよい機会と捉える。
		2 学校は学校行事に保護者が参加しやすい環境をつくっていますか。	② 授業参観・懇談会や学校行事に出席している保護者が80%以上である。 ・懇談会の持ち方、その内容等の工夫に努める。 ・事前に授業内容の一覧表を作成し配布する。 ・学期一回の授業参観・懇談会を設定する。
		3 学校は、保護者が連絡や相談しやすい聞く窓口を持っていますか。	③ 保護者の連絡や相談しやすい聞く窓口があると答える保護者が80%以上である。 ・連絡帳、電話、懇談会、学校評価等の機会を窓口とする。 ・保護者から寄せられた相談については、迅速に真摯な態度で誠意をもって対応する。 ・夏休みに二者面談を実施する。(希望者)
		4 生活習慣の見直しや、学習の取り組みを三中と連携して進めている内容について知っていますか。	④ 三中との連携の内容を理解している保護者が80%以上である。 ・家庭学習通信「学びのコンパス」を発行し、学習面での連携の周知を行う。 ・「生活習慣見直し習慣」と「ノーメディアウィーク」を連携して行う。 ・作品の紹介や巡回・発表などを含めた、児童・生徒間の交流を行う。 ・三中の生徒指導主事を講師として招き中学校の現状を知ってもらう。
II	学力 児童に「確かな学力」を身に付けていますか。	5 学校の授業は、わかる授業となっていますか。	⑤ 「授業が分かる」と答える児童が80%以上である。 ・1時間ごとのねらいを明確にした授業に努める。 ・授業のはじめに、振り返りの活動を導入する。(既習事項の利用) ・視聴覚機器を活用するなど、やる気につながる授業の実践に努める。 ・「チャレンジタイム」「朝学習」を実施して、児童の基礎学力定着に努める。
		6 進んで学習したり読書したりする習慣が児童に育っていますか。	⑥ 家庭学習や読書が一日あたり学年の目安以上行っている児童が80%以上である。(1・2年30分、3・4年40分、5・6年60分) ・自主学習ノート、家庭学習のあゆみ等を活用し、学年の目安時間達成を目指す。(賞賛) ・「朝読書」「朝学習」の時間の充実 ・家庭学習にしっかり取り組めない児童に対して、保護者の協力を得ながら個別指導を図る。
		7 先生の話をしっかり聞くことができる児童が育っていますか。	⑦ 先生の話をしっかり聞くことができる児童が80%以上である。 ・学級経営を充実させる。(賞賛と指導の繰り返し) ・学習を楽しむ3つに柱 ①学習準備②チャイム着席③先生を見て話を聞く の指導の徹底
III	豊かな心 児童に基本的な生活習慣を身に付け、「豊かな心」をはぐくんでいますか。	8 進んであいさつしたり、返事ができたりする児童が育っていますか。	⑧ 進んであいさつしたり、返事ができたりする児童が80%以上である。 ・全児童の輪番制によるあいさつ運動を推進する。(いじめ防止運動との関連活動) ・学校、家庭、地域によるあいさつ運動の推進を図る。
		9 いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑨ 相手の立場や気持ちを考えた、親切な言動がとれる児童が80%以上である。 ・認め合い、高め合う学級づくりを行う。 ・道徳の時間において、思いやりについて考えを深める指導を行う。 ・縦割り活動、クラブ、委員会等による多様な集団活動を通して好ましい人間関係を育成する。
		10 授業に必要な道具を揃える習慣が児童に身に付いていますか。	⑩ 先生が悩みやいじめの予防や解消に努めてくれていると答える児童が80%以上である。 ・日常の観察や毎月の学校生活アンケート等により早期発見に努める。 ・人権集中週間時に全校をあげて人権学習を行い、思いやりの大切さについて考える授業を実施する。 ・一人ひとりが大事にされた学級経営に努める。
		11 時計を見て行動できる児童が育っていますか。	⑪ 忘れ物がないように、前日に用意をする児童が80%以上である。 ・連絡帳や週予定表を活用し必要な持ちのものなどを知らせる。 ・忘れ物予防策を児童と共に考え、毎日繰り返し指導に努める。 ・保護者との連携(懇談会での話し合いを設定したり、電話連絡をしたりして対応)。
IV	健康 児童の健康づくりに努めていますか。	12 規則正しい生活をしている児童が育っていますか。	⑫ 時刻を意識し遅れないように行動できる児童が80%以上である。 ・始業時間には(8時25分)教室で朝の活動が始められるように指導していく。 ・道徳の時間において規則尊重について考えを深める指導を行う。 ・集団下校時刻を守る。(不必要に学校に残らないように指導していく。)
		13 学校はケータイ・スマホ・ゲーム機の危険性や適切な使い方を指導していますか。	⑬ 早寝・早起き・朝ご飯や歯磨きの意味を理解し、規則正しい生活をしている児童が80%以上である。 ・保護者との連携を図る。(親子で話し合える内容の話題を掲載し、ほけんだよりとして配布する) ・学級活動や保健体育の指導において早寝・早起き・朝ご飯、歯磨きの意義理解の場を図る。 ・給食後の学級の歯磨き実施の徹底。
		14 日常的に運動に取り組めるよう、時間や場などの環境を整えていますか。	⑭ ケータイ・スマホ・ゲームの節度のある使い方ができている児童が80%以上である。 ・家庭と連携しケータイ・スマホの使い方のルール(9時以降は使用しない)作りを推奨していく。 ・ケータイ等の使い方や危険性についての講習会を専門機関に依頼し啓発を図る。 ・「元気アップカード」を活用し生活習慣の改善を図る。
V	安全 児童の安全確保に努めていますか。	15 児童に対する安全対策が講じられていますか。	⑮ 週3日以上、からだを動かして遊んだり運動したりしている児童が80%以上である。 ・サーキット運動を取り入れた体育の授業の実践。 ・朝行事等、時間や場などの環境づくりを行う。 ・20分休みは校庭で遊ぶよう積極的に声をかける。(教師も一緒に遊ぶ)
		16 学校と家庭と地域で安全対策に努めていると答える保護者と教師が80%以上である。	⑯ 将来の夢や希望について親子で会話する機会を設けていると答える保護者が80%以上である。 ・登下校時の児童の安全を確保するため、子ども安全協力の家や見守り隊など地域との連携を活用する。 ・緊急メールシステムを活用し、情報を迅速に保護者に伝える。 ・年3回の避難訓練の実施方法を工夫し、防災に対する意識の高揚を図る。
VI	夢や希望 児童に将来への夢や希望をはぐくんでいますか。	17 児童が将来について考える機会を設けていますか。	⑰ 将来の夢や希望について親子で会話する機会を設けていると答える保護者が80%以上である。 ・望ましい生き方や勤労観等を育成する道徳や学級活動の指導を工夫する。 ・小中連携で円滑な接続を図り、系統的・計画的なキャリア教育を推進する。 ・夢カードなどを活用し、親子で話し合う場を設定する。